

## 第1回京丹波町地域福祉計画策定委員会 会議概要

〔日 時〕 平成27年8月26日(水) 午後1時30分～午後3時15分  
〔場 所〕 京丹波町瑞穂保健福祉センター2階 集団指導室・健康学習室  
〔出席者〕 委員19名(波瀬孝澄、田中強、片山俊明、大西好美、竹内裕子、岡本勇、一谷静夫、谷山和子、津田勝二、友金一文、岩田恵一、梅原好範、野間之暢、中西和之、高橋弘、今海博文、木上實、藤田正則、山崎正則)  
欠席 河村泰宏 【敬称略】  
事務局8名(下伊豆かおり、津田知美、井上祐子、岡本明美、上原美智子、山内善史、山内圭司、芦谷真由美)

- 1 開 会 (事務局)
- 2 寺尾町長あいさつ  
(寺尾町長よりあいさつ)
- 3 委嘱状の交付  
(各委員に委嘱状の交付) 【代表】 片山 俊明委員
- 4 出席者自己紹介  
(各委員より自己紹介)
- 5 委員長・副委員長の選出

事務局： 京丹波町地域福祉計画策定委員会設置要綱第6条第2項の規定では、委員長、副委員長は委員の互選により選出することになっている。いかがされるか。

委 員： 地域福祉計画ということで、委員長は学識経験者であり社会福祉協議会会長の波瀬委員、副委員長は地域全体の中で取り組みをいただいている民生児童委員協議会会長の田中委員を推薦させていただく。

事務局： 委員長に波瀬委員、副委員長に田中委員の推薦がありましたが、いかがか。

(異議なし 一同拍手)

事務局： 波瀬委員に委員長、田中委員に副委員長をお世話になりますが、よろしくお願します。

(波瀬委員長よりあいさつ)

委員長： 只今、委員長の指名を頂戴した。各分野でご活躍されている経験豊かな皆様を差し置いて大役をお受けする立場にないが、福祉に関わる者の一人として、皆様にご協力いただきがんばっていききたい。町長の掲げる「安心・活力・愛」のあるまちづくりの一環として、福祉の要となる地域福祉計画の策定に向け、皆様には何かとお世話になるがよろしくお願ひしたい。

(寺尾町長退席)

## 6 協議事項

委員長： 事務局より協議事項（1）地域福祉計画策定までの概要及び報告事項について説明をお願いする。

事務局： 資料1 京丹波町地域福祉計画策定委員会設置要綱  
資料2 京丹波町地域福祉計画策定作業部会設置要綱  
資料3 地域福祉計画の策定について  
資料4 京丹波町地域福祉計画策定スケジュール（予定）

以上について説明。

委員長： 何か意見や質問はあるか。

委員： 委員のメンバーに区長会が入っていないのはなぜか。  
また、医療等審議会や地域包括ケア推進委員会における協議の状況と本計画との整合性をどのように図っていくのか。

事務局： 区長会については年度途中から選出いただくのが難しい状況にあるため、地域で活動しておられる振興会等の代表の皆様にご委員としてお世話になっている。区長会には協議経過を報告させていただく。  
なお、関係する審議会や委員会で協議されている内容は、関係機関と連携し、本計画との整合性を図っていく。

委員： 地域包括ケアについて詳しい説明を願う。

事務局： 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるシステムのことで、介護保険事業だけでは支えきれない、或いは対象とならない高齢者の困りごと等を今後どのように解決していくかについて、現在、地域包括ケア推進委員会で協議しているところである。

委員長： その他に何かございますか。

全委員： (意見等特になし)

委員長： 次に京都府社会福祉協議会事務局次長の武田氏に講演をいただく。

講演 『地域福祉計画の策定に向けて』  
講師 京都府社会福祉協議会  
事務局次長 武田 知記氏

委員長： 何か意見や質問はあるか。

全委員： (意見等特になし)

委員長： 特にないようですので、次に次回委員会の日程調整を行う。

平成27年11月18日(水)午後1時30分から開催(決定)

事務局： 閉会に田中副委員長からあいさつをいただきます。

(田中副委員長より閉会あいさつ)

副委員長： 高齢になってもあきらめないで、元気でそれぞれ支え合いながら過ごし、なんとか自分ができることは自分ですという気構えを持つことが大事。民生委員として地域を周りながらいつも話している。副委員長に推薦をいただいたが、そのような器ではないが、皆様と共にがんばっていくので、今後ともよろしくお願ひしたい。

—閉 会—